

# 新庄信用金庫レポート

*DISCLOSURE* (令和4年9月末)

*SHINJO SHINKIN BANK*

## ごあいさつ

信用金庫は、協同組織形態の地域金融機関として、経営の健全性、透明性の確保を基本に、その社会的使命を果たし、会員をはじめとする地域の中小企業や住民の方々から、高い信頼と信認を得てまいりました。

現下の経済状況として、世界的には米国等の政策金利引き上げ、ウクライナ情勢及びロシアへの経済制裁等、地政学的リスクの高まりに注視が必要な状況となっております。国内においては、新型コロナ感染症への警戒感は依然として拭い切れておらず、加えて急激に進んだ円安により、資源価格の高騰や物価高が企業活動や個人消費に大きな影響を与えております。また、直近7～9月期の国内総生産（GDP）速報値は年率で4期ぶりマイナス成長（△1.2%）、依然として景気回復の道筋は見えず、我々を取り巻く環境は厳しさが続いております。

以上のような社会経済状況にあって、従来にも増して相互扶助を標榜する信用金庫の役割の大きさを痛感しており、これからもお客様との「共通価値の創造」に向けて、地元になくなくてはならない金融機関として『地域社会の繁栄に貢献する』という経営理念の下、役職員一致協力して努力する所存であります。

今後とも、より一層のご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

令和4年11月

理事長 井上 洋一郎

## CONTENTS

1. 金融再生法ベースの債務者区分による開示（単体）
2. 自己資本の構成に関する主な開示事項/定量的な開示事項
3. 預金・貸出金の状況（残高）
4. 貸出金の内訳（業種別区分残高）
5. 時価のある有価証券の評価差額（単体）
6. 総代会の機能・総代の氏名等
7. CSR進捗状況
8. 地域貢献
9. トピックス

（記載する数値は、監査法人の監査を受けておりません）

## 1. 金融再生法ベースの債務者区分による開示（単体）

（単位：百万円）

債務者区分※	令和4年9月末	令和3年9月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	1,053	1,224
危険債権	1,851	1,747
要管理債権	38	41

（注） 上記の令和4年9月末の計数は「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律施行規制」第4条に規定する各債権のカテゴリーにより分類しておりますが、集計方法については以下の点につき年度末に開示する計数と異なるため、計数は連続しておりません。

- 令和4年9月末の「破産更正債権及びこれらに準ずる債権」および「危険債権」の金額は、令和4年3月末時点における債務者区分を前提とし、3月末から9月末までに倒産、不渡り等の客観的な事実ならびに債務者区分の引下げ等があった債務者について、当金庫の定める自己査定基準に基づき債務者区分の変更をしております。この場合、債務者区分が下方へ変更になった場合を対象とし、債務者に対する債権額を新たに加算、元の債務者区分欄から減額しております。
- 令和4年9月末の「要管理債権」の金額は、3月末時点における債務者区分を前提とし、3月末から9月末の間に正常先、要注意先の債務者に対する債権のうち①新たに3ヵ月以上延滞となった債権、②新たに貸出条件を緩和したことを確認している債権を加算し「破産更正債権及びこれらに準ずる債権」および「危険債権」に変更になった金額を減算しております。  
また、3月末時点の自己査定金額を基準として、半期中の増減額を勘案しております。

※ 債務者区分

- 破産更正債権及びこれらに準ずる債権（実質破綻先、破綻先の債権）
- 危険債権（破綻懸念先）
- 要管理債権（要注意先のうち、利払いが3ヵ月以上延滞しているか、貸出条件を緩和している債権）

## 2. 自己資本の構成に関する主な開示事項/定量的な開示事項

（単位：%、百万円）

項目	令和4年9月末	令和3年9月末
単体自己資本比率	12.70	12.28
コア資本に係る基礎項目の額	6,055	5,699
コア資本に係る調整項目		
無形固定資産（モーゲージ・サービシング・ライセンスに係るものを除く。）の額の合計額	7	9
繰延税金資産（一時差異に係るものを除く。）の額	-	-
前払年金費用の額	135	136
少数出資金融機関等の対象普通出資等の額	-	-
コア資本に係る調整項目の額	143	145
自己資本の額	5,912	5,553
リスク・アセット等の額の合計額	46,526	45,203
信用リスクに対する所要自己資本の額	1,752	1,697
オペレーショナル・リスクに対する所要自己資本の額	108	110
単体総所要自己資本額	1,861	1,808

### 3. 預金・貸出金の状況（残高）

（単位：百万円）

	令和4年9月末	令和3年9月末	令和4年3月末
預金	76,673	75,715	75,821
貸出金	41,415	41,190	41,600

### 4. 貸出金の内訳（業種別区分残高）

（単位：百万円）

	令和4年9月末	令和3年9月末	令和4年3月末
製造業	2,215	2,315	2,059
農業、林業	559	404	595
建設業	3,901	3,863	3,987
電気、ガス、熱供給、水道業	193	7	199
情報通信業	65	55	59
運輸業、郵便業	460	394	452
卸売業、小売業	2,564	2,684	2,624
金融業、保険業	1,225	1,362	1,281
不動産業	8,768	8,620	8,771
物品賃貸業	62	68	76
学術研究、専門・技術サービス業	2	6	4
宿泊業	578	558	550
飲食業	612	601	609
生活関連サービス業、娯楽業	584	579	598
教育、学習支援業	140	189	179
医療、福祉	1,386	1,438	1,436
その他のサービス	3,191	3,124	3,092
小計	26,516	26,275	26,579
地方公共団体	1,669	1,612	1,689
個人（住宅・消費・納税資金等）	13,229	13,302	13,332
合計	41,415	41,190	41,600

（注）業種別区分は、日本標準産業分類の大分類に準じて記載しております。

### 5. 時価のある有価証券の評価差額（単体）

（単位：百万円）

	令和4年9月末				令和3年9月末			
	時価	評価差額	うち		時価	評価差額	うち	
			益	損			益	損
その他有価証券	18,814	△ 831	475	1,307	18,657	451	751	300
株式	1,346	△ 55	110	165	1,276	103	131	28
債券	6,796	△ 208	5	213	6,395	△ 9	28	38
その他	10,671	△ 567	360	927	10,986	357	591	233

	令和4年9月末				令和3年9月末			
	帳簿価額	含み損益	うち		帳簿価額	含み損益	うち	
			益	損			益	損
満期保有目的の債券	-	-	-	-	-	-	-	-

- （注） 1. 令和4年9月末の「評価差額」および「含み損益」は、令和4年9月末時点の帳簿価格と時価との差額を計上しております。  
 2. 満期保有目的の債券に係る含み損益がある場合は、決算上に影響しません。

## 6. 総代会の機能・総代の氏名等

### 【総代会の機能について】

総代会は、当金庫の会員の中から定款に定める方法によって選任された総代で組織される最高意思決定機関です。

### 【総代の氏名等について】（令和4年9月30日現在）

#### 1. 総代の氏名等

選任区域	人数	氏名・就任年数（丸内数字）
新庄地区	34名	藤田 敏雄 <sup>⑭</sup> 森 俊明 <sup>⑩</sup> 沼澤 正則 <sup>⑬</sup> 涌井 正和 <sup>⑩</sup> 山科 昭雄 <sup>⑬</sup> 涌井 洋一 <sup>⑩</sup> 阿部 浩悦 <sup>⑬</sup> 結城 敏夫 <sup>⑨</sup> 江口 好彦 <sup>⑭</sup> 阿部 茂 <sup>⑤</sup> 菅 信二 <sup>⑬</sup> 井上 孝一 <sup>⑤</sup> 長倉 洋一郎 <sup>⑭</sup> 日下 修一 <sup>⑤</sup> 吉田 慶一 <sup>⑨</sup> 奥山 貴裕 <sup>⑤</sup> 片岡 潤二 <sup>⑨</sup> 井上 和郎 <sup>⑤</sup> 富樫 利宏 <sup>⑬</sup> 大場 清文 <sup>⑤</sup> 阿部 克 <sup>⑨</sup> 柿崎 千恵 <sup>⑤</sup> 井上 貞治 <sup>⑪</sup> 武田 一夫 <sup>⑤</sup> 赤松 正文 <sup>⑩</sup> 佐々木 新一郎 <sup>⑤</sup> 佐藤 啓 <sup>⑩</sup> 津藤 真知子 <sup>⑤</sup> 田澤 雅宏 <sup>⑩</sup> 沼澤 孝典 <sup>⑤</sup> 長南 雅行 <sup>⑩</sup> 梁瀬 幹子 <sup>⑤</sup> 早坂 幸久 <sup>⑩</sup> 加藤 秀幸 <sup>⑤</sup>
最上郡地区	16名	佐藤 景一郎 <sup>⑭</sup> 青柳 富士男 <sup>⑩</sup> 川田 幸一 <sup>⑫</sup> 星川 新一 <sup>⑤</sup> 庄司 和敏 <sup>⑩</sup> 笹原 洋雄 <sup>⑤</sup> 熊谷 市夫 <sup>⑨</sup> 寒河江 宏一 <sup>⑤</sup> 高橋 智之 <sup>⑤</sup> 佐々木 重四郎 <sup>⑫</sup> 山科 義行 <sup>⑤</sup> 大場 利秋 <sup>⑬</sup> 柴田 清正 <sup>⑨</sup> 大石 紳一郎 <sup>⑤</sup> 岸 伊和男 <sup>⑭</sup> 佐藤 隆 <sup>⑤</sup>
天童・大石田地区	13名	庄司 正彦 <sup>⑨</sup> 荒木 正憲 <sup>⑩</sup> 吾妻 正章 <sup>⑤</sup> 土屋 昭智 <sup>⑤</sup> 狩野 一康 <sup>⑤</sup> 設楽 勇吉 <sup>⑤</sup> 大場 和敏 <sup>⑤</sup> 矢吹 栄修 <sup>⑤</sup> 富樫 正一 <sup>⑤</sup> 村山 与四郎 <sup>⑬</sup> 芳賀 義隆 <sup>⑤</sup> 八鍬 隆正 <sup>⑤</sup> 山口 孝之 <sup>⑫</sup>
河北町地区	1名	工藤 信策 <sup>⑤</sup>
庄内町地区	1名	鈴木 富士雄 <sup>⑤</sup>

#### 2. 総代の属性別構成比

職業別	比率（％）
法人代表者	53.84
個人事業主	29.23
個人	16.92
合計	100.00

年代別	比率（％）
40～49歳	1.53
50～59歳	13.84
60～69歳	35.38
70歳以上	49.23
合計	100.00

業種別	比率（％）
製造業	7.69
農業、林業	3.07
建設業	20.00
運輸業	1.53
卸売業、小売業	30.76
不動産業	4.61
学術研究、専門・技術サービス業	1.53
宿泊業	3.07
生活関連サービス業、娯楽業	3.07
医療、福祉	7.69
その他のサービス	16.92
合計	100.00

## 7. CSR進捗状況

(コーポレート・ソーシャル・レスポンスビリティ)

CSRとはCorporate Social Responsibilityの略で、一般的に「企業の社会的責任」と言われます。



当金庫より、地元小学校に図書「夢をかなえる」を寄贈しました。

### ～ご存知ですか？CSR～

企業の事業継続性(サステナビリティ)は財務諸表のみではなく、お客様、職員や地域社会などの存立基盤によって形成されるものであり、こうした多面的な配慮が、企業の将来的な発展には必須の条件であるという考え方です。協同組織である当金庫は、日頃の本業を通じた事業活動そのものが、CSRや、持続可能な開発目標(※SDGs)に対する活動に結び付けております。

※SDGsにつきまして、詳しくは当金庫のホームページをご覧ください。



当金庫では職員に対し資格取得の推進、各種セミナーへの参加を実施し、お客様の経営支援に努めてまいります。現在、16名の職員が産学金連携コーディネーターとして認定を受け、うち9名がシニア産学金連携コーディネーターとして認定を受けております。

### ◆ コーポレートガバナンス (企業統治)

#### ・お客様の声に耳を傾けます。

当金庫では、お客様から頂いたご意見等を参考に、様々な活動を行っております。これからも、地域に密着した金融機関を目指すため、ご協力をお願いいたします。

<進捗状況>

- ・社会保険労務士との連携による「個別年金相談訪問」を実施しております。
- ・山形大学の柴田孝客員教授による企業への現場改善相談を行いました。



山形大学の柴田孝客員教授とともに企業への視察による現場改善・経営相談を毎週実施しております。

### ◆ ステークホルダー (当金庫を取り巻くあらゆる利害関係者の方々)

#### ・お客様からの相談にアドバイスできるよう努力しております。

当金庫では、お客様の堅実な資産づくりのお手伝いをさせていただいております。より多くのお客様の現状や将来の生活設計に役立てるよう、ご相談機能や、新商品の開発、サービスの一層の充実に向け、職員一丸となってFP(ファイナンシャルプランナー)技能士資格を取得し、努力してまいります。

<進捗状況>

- ・日本ファイナンシャル・プランナーズ協会のAFP資格とCFP®資格取得に向けた取組みを継続しております。
- ・大学教授、大手企業経営者、社会保険労務士等による経営相談を実施しております。
- ・山形大学と共に顧客の課題発掘・解決に関する取組みを行っております。

### ◆ エコロジー・社会貢献

#### ・NPO法人バイオマスもがみの会と共に、バイオマス(生物資源)の利用研究に関する普及啓発活動や、企業の森づくり活動、新庄「小さな親切」の会の新庄事務局の運営等、明るく住みよい地域社会づくりに貢献しています。

<里山地域の「森づくり活動」>

- ・やまがた絆の森『しんきん結の森・ぐるっと花笠の森【新庄】』活動として、柴草山の絆の森看板周辺・植樹エリア・遊歩道エリアの下刈りと倒木撤去作業を山形銀行と共同で行いました。

<新庄「小さな親切」の会の新庄事務局の運営、絵画コンクール等>

- ・新庄「小さな親切」の会より、大蔵村・戸沢村・鮭川村にそれぞれ車いすを1台寄贈しました。
- ・当金庫敷地内において、献血バスによる近隣の住民対象の献血活動を行いました。





## 8. 地域貢献

# 新庄信用金庫と地域社会

～ 地域に根ざしたコミュニティバンクをめざして ～

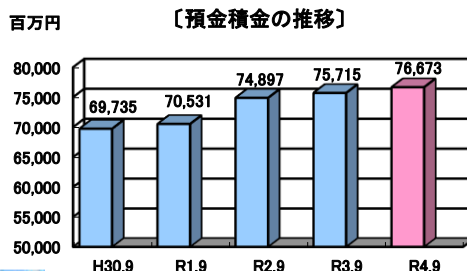
< 当金庫の地域経済活性化への取組みについて >

当金庫は新庄市、最上郡、北村山郡、尾花沢市、東根市、村山市、天童市、山形市、寒河江市、河北町、庄内町を事業区域として、地元の中小企業者や住民が会員となって、お互いに助け合い、発展していくことを共通の理念として運営されている相互扶助型の金融機関です。

地元のお客様からお預かりした大切な資金（預金積金）は地元で資金を必要とするお客様にご融資を行って、事業や生活向上のお手伝いをするとともに、地域社会の一員として地元の中小企業者や住民との強い絆とネットワークを形成し、地域経済の持続的発展に努めております。また、金融機能の提供にとどまらず、文化、環境、教育といった面も視野に入れ、広く地域社会の活性化に積極的に取り組んでおります。

### ◆預金積金残高【76,673百万円】

当金庫では、地域のお客様の堅実な資産づくりのお手伝いをさせていただいております。より多くのお客様からご利用いただけるよう新商品の開発やサービスの一層の充実に向けて努力してまいります。

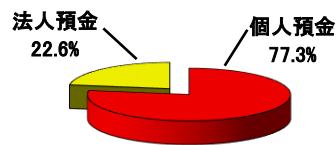


### ◆「えほん定期」(夢がかなう本)

えほんの主人公に、お子様等のお名前が入った、世界でたった1冊の自分だけのオリジナル絵本をプレゼントします。



### 【預金者別預金残高構成】



新庄信用金庫

地域のお客様／会員の皆様

## 預金積金／出資金

「地元」で預けて頂いたお金は「地元」へ。

## 貸出金／支援サービス

### ◆貸出金残高【41,415百万円】

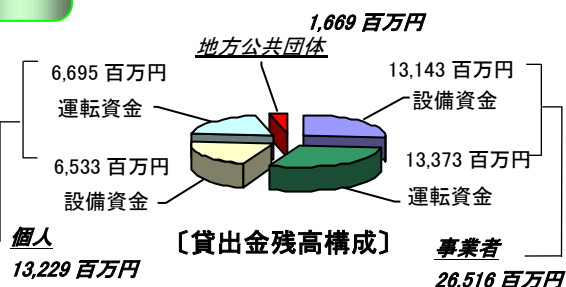
預金積金に対する割合【54.0%】

地元のお客様からお預け入れいただいた預金積金につきましては、お客様の様々な資金ニーズに応え、地域経済の活性化に資するためにご融資を行い、地域社会に還元しております。その結果、個人のお客様を含めた地域の事業者の皆様に対し、総貸出金の約93.0%をご融資しております。※その他は地方公共団体等へのご融資になります。

### ◆取引先への支援等

当金庫は、業績低下に苦慮しているお客様には親身になって相談し、打開のための改善策や経営改善計画書等へのアドバイスをするなど、資金面だけでなく生きた支援を心掛けております。

また、お取引先事業者経営者への情報提供と、異業種交流・親睦を図る場として「しんきんエグゼクティブクラブ」を運営し、経済・文化講演会や各種セミナー等を開催、お取引先様の発展と繁栄のお手伝いをしております。



### ◆新規創業支援

地域の活性化を目的とした創業支援商品「コミュニティビジネスローン」や、街づくりを支援する「NPOサポートローン」がございます。



## 9. トピックス

### 地域貢献・CSR

当金庫のレキシントンホール、駐車場を献血会場として提供しており、職員も積極的に献血に参加しております。



地元の高校が開催する地域理解プログラムに当金庫の職員が講師として参加し、高校生の地域課題の発見に協力しました。



職業体験として高校生を迎え入れ、信用金庫の仕事内容や地元金融機関の存在の大切さについて学んでいただきました。



### 「ジモト・ソーシャル・イノベーター」育成の一環としてジモト大学にて考案したスイーツを商品化

当金庫は、地方創生に関する取組みとして、日本財団「わがまち基金」を活用した「国産落花生の新産地プラットフォーム構築」と「ジモト・ソーシャル・イノベーター養成」事業を開始し、地域創生の推進に向けた課題解決および地域の明るい未来を実現するために活動中です。

令和元年に行われた「ジモト大学」プログラムにて当金庫若手職員と学生が金山町産落花生を使用したモンブラン「モンナッツ」を考案しました。しばらくコロナ禍により活動を自粛しておりましたが、取引先スイーツ店様の協力のもと3年越しの実現に至り、「モンナッツ」の商品化と店頭販売を行うことができました。同時に、平成29年に開始した「空き家リノベーションによる新たなネットワークコミュニティ拠点構築事業」で誕生したカフェ「万場町のくらし」にて、今回商品化されたモンナッツを提供しており、わがまち基金の2事業によるコラボレーションが実現しました。

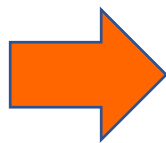


令和元年開催のジモト大学プログラム『ピーナッツの商品企画で将来の自分をGETしよう!』

当金庫6階ホールにて関係者様を招いての試食会を開催し、ご試食された方々からは「落花生の香りが良い」「甘すぎず食べやすい」など好評をいただきました。



ジモト大学にて考案された「モンナッツ」



店頭に並ぶモンナッツ(左)とカフェにて提供されているモンナッツ(右)



## 「よろず支援」「新現役交流会」を活用した経営支援

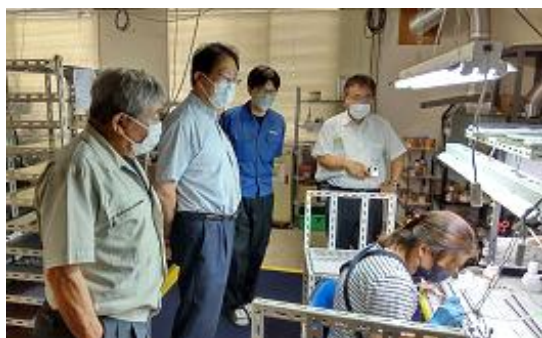
当金庫では外部専門機関との連携を密にし、お取引先様の課題発掘と解決・経営支援に向け活動を展開しております。



### 【よろず支援拠点】

「よろず支援拠点」は国が全国に設置している無料の経営相談所です。業態、業種に関わらず経営上のあらゆる悩みの相談に対応しております。また、相談内容に応じて地元の金融機関や専門家と連携をとる点も特徴の一つです。

今回は取引先の飲食店にてよろず支援の専門家の方と、商品企画・開発について意見を交わしました。



### 【新現役交流会・中小企業119】

亀有信用金庫が開催している大手・中堅企業出身のシニア人材「新現役」と取引先経営者とをマッチングする「新現役交流会」に当金庫も参加し、取引先の経営課題の解決に尽力しております。

また、中小企業庁が創設する事業者の経営相談に対し、支援機関・専門家をつなぐポータルサイト「中小企業119」も活用しております。

今回は取引先2社が交流会に参加し、それぞれ新現役の方とのマッチングに成功しました。さらに、「中小企業119」に登録することで定期的な新現役の方の派遣を実現し、現在も相談・支援を継続しております。

## やまがた絆の森における里山地域の「森づくり活動」



平成30年10月に開催した「森のホームステイによる絆の森植樹活動」にて植樹したコナラ、ミズナラ等の場所と遊歩道の下刈りを実施いたしました。また、平成23年5月に植樹したブナ周りについても、下刈り活動を行いました。（植樹したブナは11年で高さ3mまで達し、順調に生育が進んでおります。）

昨年度に引き続き、新型コロナウイルスの影響により活動を自粛している状況が続いている中、遊歩道の下刈り・倒木撤去活動を継続して行っております。

本取組みは、新庄信用金庫、山形銀行、山形県、柴草山管理組合、新庄市、NPO法人バイオマスものがみの会の6者間で協定を結び、活動しているものです。

下刈りを実施した絆の森看板(左)と、植樹エリアの下刈り(中央)、目印を付けながらの遊歩道の現場確認(右)の様子



令和4年11月発行  
**新庄信用金庫 総合企画部**  
 〒996-0027 山形県新庄市本町2番9号  
 TEL. 0233-22-4222 (代表)

***SHINJO SHINKIN BANK***